

第13回考古学と中世史シンポジウム

「考古学は中世を語れるか」

の開催のご案内

日程 2015年7月4日(土)・5日(日)
会場 帝京大学文化財研究所 (山梨県笛吹市石和町四日市場1566-2 TEL 055-263-6441)
主催 考古学と中世史研究会
共催 帝京大学文化財研究所
資料代 4,000円(第13回シンポジウム資料集・第12回シンポジウム報告集代)

7月4日(土)

12:00 受付開始
 12:50～ 開会の辞 萩原 三雄
 13:00～ 問題提起 小野 正敏

1. 建物を読む

13:10～13:40 「発掘された建物遺構をどのように読み解くか
 —考古学・建築史学の限界と可能性—」 富島 義幸 (京都大学)
 13:40～14:10 「館の成立と姿」 八重樫 忠郎 (平泉町役場)
 14:10～14:40 「発掘された館をどう読むか
 —戦国期を例に—」 小野 正敏 (前 人間文化研究機構理事)
 14:40～15:10 討 論 司会:八重樫 忠郎

15:10～15:30 休 憩

2. 場を解く

15:30～16:00 「城と聖地—城下町の核心を再考する—」 中澤 克昭 (上智大学)
 16:00～16:30 「ムラが消えた」 飯村 均 ((公財)福島県文化振興財団)
 16:30～17:00 「鉦山遺跡の景観と「場」を解く」 萩原 三雄 (帝京大学文化財研究所)
 17:00～17:30 討 論 司会:中澤 克昭

18:30～ 懇 親 会 「ホテル古柏園」 参加費6,000円

7月5日(日)

3. 出土文字資料の見方

10:00～10:30 「出土文字史料の見方」 五味 文彦 (放送大学)
 10:30～11:00 「鴨田遺跡出土の巡礼札が語るもの」 高橋 慎一郎 (東京大学史料編纂所)
 11:00～11:30 「経筒出土文字資料と考古学的視点」 村木 二郎 (国立歴史民俗博物館)
 11:30～12:00 討 論 司会:村木 二郎

12:00～13:10 昼 食

13:10～15:30 総合討論 総合司会: 中島 圭一・畑 大介・佐々木健策

申し込み方法

※ 参加希望者は、懇親会のご出欠を含めて帝京大学文化財研究所へはがき・FAX・E-mailで6月26日(金)までにお申し込み下さい。

帝京大学文化財研究所【萩原・畑・林】
 〒 406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場1566-2
 TEL 055-263-6441 FAX 055-261-0462
 E-mail aae29890@pop21.odn.ne.jp

石和町内宿泊施設案内

※ 宿泊は、各自で下記のホテル等にお申し込み下さい。なお、空室状況や料金などは、各ホテルに確認して下さい。講師および事務局は、「スパランド ホテル内藤」に宿泊予定です。

- No.1 「スパランド ホテル内藤」TEL 055-262-7001 ¥6,500～ 研究所から徒歩 4分
- No.2 「ホテル古柏園」TEL 055-262-5890 ¥8,640～ 研究所から徒歩20分
- No.3 「ルートインコート甲府石和」TEL 055-262-1011 ¥6,100～ 研究所から徒歩15分
- No.4 「ビジネスホテル白扇」TEL 055-262-4883 ¥3,500～ 研究所から徒歩 4分

案内図



なお、研究所からお帰りの際、下記のタクシー会社に電話をすれば通常数分で来ます。
 「第一交通」TEL 0120-62-5757